

25 オメガコーナ 柱交換用パイプコーナー

ほぼ加工なしで、柱と横架材を接合でき、既存木造住宅の耐震補強に最適です。無垢材にも使用できます。

用途・特長

- 柱と横架材の接合に使用します。
- ①既存木造住宅の耐震補強に最適です。
 - ②柱頭と柱脚に取り付けることにより、ほぼ加工をしないで柱と横架材を接合できるため、施工しやすくなっています。
 - ③柱、横架材ともに無垢材での使用ができます。
 - ④一財・建材試験センター及びハウスプラス確認検査(株)による性能試験済み商品です。



※施工時には木工用キリφ27を別途ご用意ください。

施工方法

- ①横架材に対して柱の位置を決め、横架材に設置する柱の面から50mmの位置に木工用キリφ27で垂直に下穴(深さ50mm程度)をあけます。
- ②本体を(柱)の刻印のあるほうを柱側にして、ハンマー等でパイプ部をφ27の下穴に横架材と金物本体が接するまで打ち込み、柱と金物本体が直角になるよう位置を合わせます。
- ③横架材に専用角ビットビスTBB-75(4本)でとめ付けます。
- ④横架材間の長さに合わせた柱を設置予定位置に入れ込みます。
- ⑤入れ込んだ柱に専用角ビットビスTBB-75(4本)でとめ付けます。

注意事項

- 指定の用途以外には使用しないでください。
- けが防止のため手袋等をはめて作業を行ってください。
- 腐朽、腐食、湿った木材への取り付けは避けてください。
- 金物取り付けの際、安全を考慮した姿勢と足場を必ず確保してください。
- ビスを施工する際には以下の点にご注意ください。
 - ・バッテリー式インパクトドライバーをご使用ください。コード式、エア式は使用しないでください。
 - ・ビス頭が金物に接するまでねじ込んだ後、増し締めをしないでください。
 - ・金物面に対して垂直に施工してください。斜め打ちはしないでください。
 - ・一度ねじ込んだビスを抜いて、再使用はしないでください。
 - ・堅木、木材のフシ部分への施工の際は、下穴をあけてからねじ込んでください。

引張試験

一財・建材試験センター 性能試験 第10A1714号
短期基準引張耐力 12.1kN

せん断試験

ハウスプラス確認検査(株) 性能試験 HP10-KT078
短期基準接合耐力 9.3kN

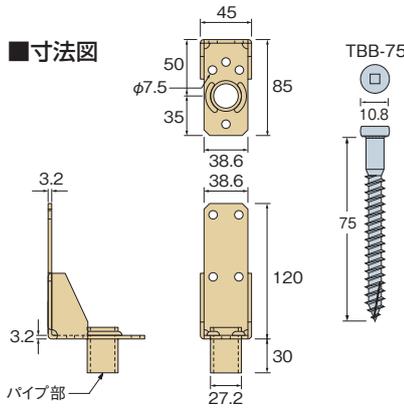
性能試験(中柱型)
(パイプコーナー+オメガコーナー20kN用)

ハウスプラス確認検査(株) 性能試験 HP11-KT055
短期基準接合耐力 22.8kN

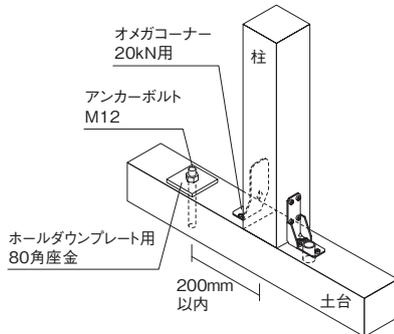
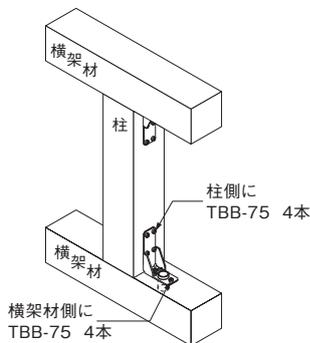


TBB-75
柱側
(使用本数4本)
横架材側
(使用本数4本)

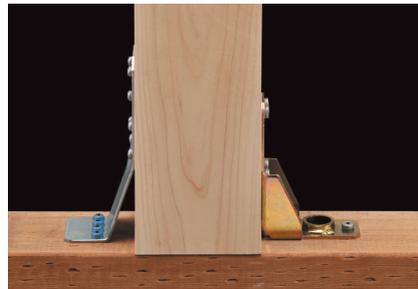
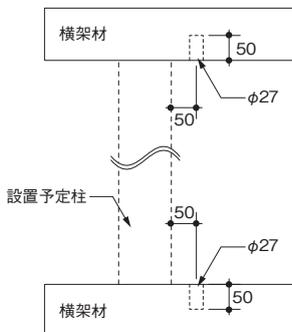
■寸法図



■取付参考図



■柱頭柱脚への取り付け位置 穴あけ加工図



サイズ(mm)	商品コード	梱包(1ケース)	付属金物	重量(kg/ケース)
150×45×85	AA650500	20個	専用角ビットビス TBB-75 (160本)	9.5
材質	板部:JIS G 3131(熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)SPHC パイプ部:JIS G 3452(配管用炭素鋼鋼管)SGP	表面処理	JIS H 8610(電気亜鉛めっき)及びJIS H 8625 Ep-Fe/Zn8/CM2 C	